検証内容

＜検証内容の一例＞ 好奇心を学ぶよろこびへ

視覚

Step5 つかまり立ちの頃 8～11ヶ月 **Step6** たっちの頃 12～15ヶ月

成長にともない、見分けられるようになっている

★最初は2色の顔とカラーの顔ではカラーの顔に注目する傾向がある

★見慣れるとモノクロの顔とカラーの顔ではモノクロの顔に注目する傾向がある

★にっこり顔とびっくり顔ではびっくり顔に注目する傾向がある

★にっこり顔とやられ顔ではやられ顔に注目する

※表情認知は検証用の普通顔とキャラクター設定上のさまざまな表情の顔を比較した実験を行っているため、実際の商品内容とは異なる場合がございます。検証の詳細はベビラボホームページ(http://babylabo.jp)をご覧ください。
※上記の月齢はあくまでもめやすです。成長には個人差があるため、成長にあわせてあせらず見守ってあげましょう。

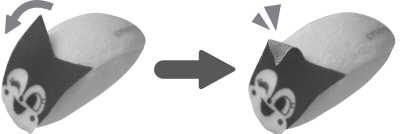
月齢	カテゴリー	研究で明らかになったお子さまの発達
9	手・視覚	9ヶ月頃から、掴もうとしている物の大きさに合わせて、あらかじめ手の広げ方を変えられるようになる。 13ヶ月になると、大人と同じように物に届く前に物の大きさに合わせて手を閉じ始めるようになる。
9	手・視覚	9～11ヶ月でつまむことができる。
22	図形の認識	22ヶ月児は穴の形に合わせて立体を回転させて入れることができる。
30	数の概念	2.5才になると、カウンティングがある程度でき始める。(※) しかし、数えて個数を理解したり、指定された個数の物を取り出したり、そこにある最大の数を答えたりするのは約3.5才以降である。 ※2.5才児がカウンティングを求められたとき、物だと50%程度、出来事だと33%程度、動作だと25%程度、音だと20%程度の割合でできる。

※上記の月齢はあくまでもめやすです。成長には個人差があるため、成長にあわせてあせらず見守ってあげましょう。

～遊び方～

まずはたくさんさわってみよう！

布製のたべものパーツには、それぞれ指遊びのしかけがいっぱい！遊びながら自然と指先の練習に。

めくる

まるめる

ちぎる・つなげる

折る

巻く

両手であける

～遊び方～

はいどうぞ！できるかな？

1才はちょうど「どうぞ」ができるようになる時期。
お子さまがたべものパーツを持っているときに、「くださいな」と話しかけてみましょう。
上手に「どうぞ」できるかな？

「どうぞ」ができるようになったら、「おにぎりくださいな」「りんごちょうだい」など、ものを指定してのやりとりもしてみましょう。

おさらに盛りつけてみよう！

たべものパーツをすべておさらにのせてみましょう。
3つに分かれたおさらのどこに何をのせるかを考えて工夫することになります。
「ハンバーグはどこに置こうか?」など声をかけながら楽しく盛りつけましょう。
完成したらお子さまの「できた!」をたくさんほめてあげてください。

ヘラでおさらにうつしてみよう！

たべものパーツをフライパンからおさらにヘラでうつせるかな？

最初は簡単な小さいものからチャレンジ！

おさらを運んでみよう！

たべものパーツがのったおさらをご家族の方のところまで運んでみましょう！

上手にあんよで運べるかな？

たくさん会話をしよう！

おままごとは会話をしながら遊ぶのにぴったりの遊び。

「今日のごはんは何ですか？」
「いただきます」
「おいしいね！」
「○○ちゃんはどれが一番すき？」
「ごちそうさまでした」
など、たくさん声をかけて、お子さまの想像力を高めてあげましょう。

たまごを割る遊びにチャレンジ！

めだまやき（オムレツ）をたたんでたまごのからの中に入れ、お子さまに手渡してあげてください。
両手を上手に使って、たまごを割れるかな？
割れたらめだまやきが出てきてびっくり！

両手を使ってフライパンでまぜまぜ！

フライパンでまぜまぜするのは、右手と左手で別々の動きをさせる高度な遊び。

両手が上手に使えるようになってきたら、まずはママがお手本を見せてあげてください。

安全への取り組み　〈バンダイの品質基準は約370項目〉

バンダイでは、「安全で安心できる製品作りに徹し、世界のお客さまから信頼と満足を得られる商品を提供する」ことを方針に掲げ、品質保証の取り組みを進めています。

材料の安全

デリケートな赤ちゃんがさわったり、なめたりした際に危険な材料は使用しないよう、製品に含まれる物質については食品衛生法などを踏まえ、厳しい自主基準を設定し検査を実施しています。

化学物質に関する項目

○ホルムアルデヒド試験　○重金属8元素試験　○着色料溶出試験　など

設計の安全

万一の事故の際にも、おもちゃが壊れて赤ちゃんに危険が及ばないように、業界が定める品質・安全基準（ST基準）などを踏まえ、さらに欧米をはじめとする諸外国の玩具安全基準（ASTM、EN-71）を積極的に取り入れています。

設計・強度に関する項目

○小さな部品の安全性確認　○引っ張り・曲げ試験　○トルク試験　○落下試験
○可動部連続耐久試験　など

⚠ 注意

保護者の方へ　必ずお読みください。

- 取扱説明書・遊び方冊子(本紙)を必ずお読みください。
- 保護者のもとで遊ばせてください。
- 安全のため、破損、変形したおもちゃは、使用しないでください。
- 思わぬ事故の危険があります。
- 火気や暖房器具の近くで遊ばせないでください。
- ガスレンジやストーブ、ライター、花火などの炎に近づけないでください。生地に引火する恐れがあります。
- ひもは、指などに巻きつけたりしないでください。血がかよわなくなり危険です。
- ひもを首にかけてふざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。
- ぶつけたり、ふりまわすなど乱暴な遊びをしないでください。
- 袋を頭から被ったり顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 本商品は食器ではありません。食器としての使用はしないでください。

おとなといっしょ

ひにちかづけない

まきつけない

《使用上の注意》

- プラスチック梱包材は開封後すぐに捨ててください。
- 本商品を樹脂製のソファーやシート、タイルなどの上に置かないでください。長時間接触していると色が移る場合があります。
- 縫製部分は無理な方向に強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。
- 直射日光に長時間当てると色落ちすることがありますのでご了承ください。

《洗濯上の注意》

- ハンバーグ、りんご、めだまやき（オムレツ）、おにぎり、スパゲティー、レタスはやさしく押すように手洗いしてください。
- よくすすいだあと、絞らずにタオルなどに押し付けるようにして水分を切り、形を整えてすぐに日陰で平干ししてください。
- 色落ちの恐れがありますので、他の物と一緒に洗わないでください。
- 漂白剤のご使用は変色の恐れがありますので避けてください。
- 家庭用洗濯機、タンブラー乾燥機、アイロンのご使用は、縮む恐れがありますので避けてください。

＜ベビラボ共同開発＞
株式会社日立製作所
＜検証協力＞
8～15ヶ月:京都大学 発達科学研究室

★セット内容

ハンバーグ…1個　りんご…1個　めだまやき(オムレツ)…1個
おにぎり…1個　スパゲティー…1個　レタス…1個
たまごのから…1セット　おさら…1枚　フライパン…1個
フライ返し…1個　取扱説明書・遊び方冊子(本紙)…1枚

≪電話受付先≫　バンダイお客様相談センター
〒277-8511　柏市豊四季241-22
ナビダイヤル　**0570-041-101**
●受付時間 10時～17時（祝日、夏季・冬季休業日を除く）
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

≪商品・修理品送付先≫
バンダイ　栃木修理・配送センター
〒321-0298　栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67
●営業時間 10時～17時（土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く）
電話番号はお客様相談センター共通

発売元　**株式会社バンダイ**
東京都台東区駒形1-4-8 〒111-8081

取扱説明書・遊び方冊子

ってなに？　**“好奇心”を“学ぶよろこび”に。**

ベビラボは**バンダイ**と**日立製作所**の
共同プロジェクトで赤ちゃんを研究して生まれました。

さまざまな検証で確認された、
赤ちゃんが“分かる”より良い刺激と遊びがいっぱいだから、
遊びながら赤ちゃんの好奇心を引き出します。

赤ちゃんから一歩進んだ、1才からの**Next Step**シリーズは、
より高度な遊びを通じて“好奇心”を“学ぶよろこび”に。

これがベビラボの考える、おもちゃの重要な役割です。

1才ごろのお子さまって？

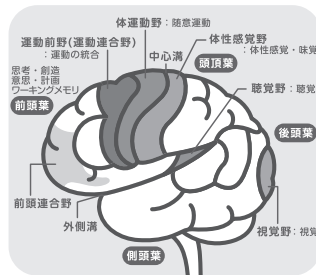
「道具を使うこと」や「言葉」を見て・触って、学ぶころ。

視覚や聴覚はすでに完成しており、早いお子さまだとよちよちと歩き始めたり、人として基本的な動作ができるようになるころです。
このころは興味を持ったものを「指さし」するなど、自分の欲求を上手に他者に伝えられるようになったり、また、「見る」「聞く」「触る」といった実体験を通じて「道具をつかうこと」や「言葉」など、社会的に生活する基礎を学んでゆくころです。

手や指を使うことはどんな風に脳にいいの？

手を繰り返し使うことで脳内の神経同士のつながりが強化され、脳が運動・行動を学習します。

私たちが手を自由に操れるのは、脳が外部環境情報を受け入れ、指令を出して、筋肉を伸展収縮させるからです。
手を上手に使えるのは、脳を上手に使えるからで、脳にはそのための機能があります。
手を使ってどのような行動をするかは、脳の前頭葉にある前頭連合野という部分が考えて計画を立て、運動前野（運動連合野）という部分に伝え、運動前野がどのように手と指を動かすかを決めて、体運動野という部分に伝え、体運動野が運動の実行指令を出しています。
この脳の各部のはたらきは、手の行動や運動を繰り返し行うことで、できるようになります。
手の行動や運動を繰り返すことで、脳内の神経同士のつながりが強化され、脳が運動・行動を学習します。
また手の基本的な使い方をマスターしておくと、他の運動を学習する時にもそのときに作られた神経回路網が働き、学習を助けてくれます。

脳は場所により分業して働いています

（小泉英明編著「育つ・学ぶ・癒す脳図鑑21」工作舎より）

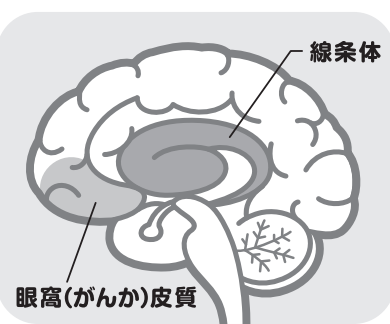
脳を育む効果的な方法は？

線条体

眼窩(がんか)皮質

ほめられたり好きなものを与えられたりすると、脳内の情動系が反応し、さらに学習意欲が引き出されます。

脳の学習意欲をつかさどる「線条体」は、情動系と呼ばれるご褒美を感じる部分、「眼窩（がんか）皮質」と連携して働きます。
お母さんからほめられたり、好きなものなどのご褒美を得ると、またその快感を得たいという気持ちから、自然と学習意欲が高まります。

（小泉英明著「脳は出会いで育つ」青灯社より）

詳しくは Baby Labo ホームページへ　(http://babylabo.jp)

※取扱説明書の画像と商品とは多少異なりますので、ご了承ください。